

インタビュー

株豆蔵
エン지니어リングソリューション事業
部長

福富 三雄氏

ロボット事業リーダー

大國 征司氏

(株)豆蔵(東京都新宿区
西新宿2-1-1、☎0
3-5339-2111

「ロボット導入支援」とい
ったロボット関連の取り

ロボット関連の取り組みを拡大

4)は、ITコンサルティング企業として、組み込み業務システムの開発やAI・RPA・DX関連サービスなどを展開している。そして近年は「ロボットシステム開発支援サービス」や「工場の自動化サービス(ロ

組みも強化している。今回、ロボット分野の直近の取り組みなどについて、エン지니어リングソリューション事業部長の福富三雄氏と、ロボットの

同研究したロボットチームの開発期間を短縮するメカ設計手法なども有している。そして、こうしたソフト、エレキ、メカの技術ノウハウを組み合

一との実績もある。——他企業と共同研究も進めていると聞きまし

た。これにより高い剛性を担保しながら、金属製と比べて重量をおよそ半分で軽量化できた。減速機は日本電産シンボの高バックドライブリテ

を開を開始した。AIやビジョンシステムを活用したロボット検査システム、柔軟・不定形なワークをピッキングするロボットシステム、飲食店向けの自動食洗ロボットシステムなど、高難易度かつソフト、エレキ、メカの総合力が必要とされる領域を中心に、各種類の装置メーカーなどと連携

しながらシステムの開発・実証を進めている。——そのほかロボット関連での取り組みは。福富 1月に(株)エフエーサービス(横浜市港北区)のレーザー溶接事業を取得し、板金加工用レーザー溶接ロボットシステムのサービスを開始した。ロボットと加工技術を融合したYAGレーザーシステムを提供するもので、新規事業を行うための拠点

をエフエーサービスから引き継ぎ、相模原市にR&Dセンターを新たに開設した。この事業取得を通じて、ロボット関連事業の取り組みをさらに拡大するとともに、今後ロボット技術やソフトウェア技術を使って、レーザー溶接ロボットシステムだけでなく、板金工場全体の自動化サービスも提供していきたいと考えている。



福富三雄氏



大國征司氏

試作し、1月に発表しました。ロボットの機構設計、制

でロボットアームを柔らかく制御することに成功

した。こういったノウハウもロボットシステム開発支援サービスで提供でき、より高度な開発ニーズにも対応できる。

工場での自動化サービスも展開している。大國 ロボットシステム開発支援サービスを展開するなかで「工場の自動化についても支援してほしい」という声をいただくようになり、2019年ごろから本格的に展

開するなかで「工場の自動化についても支援してほしい」という声をいただくようになり、2019年ごろから本格的に展開を強化していきたい。ただ、そういった取り組みは当社1社で行えるものではなく、部材メーカー、大学、ベンチャー、工場用装置・機器メーカーなど、様々な方と連携していければと考えており、当社の取り組みにご興味がある方はぜひお声がけいただきたい。ロボット関連の取り組みは当社における注力分野の1つとなっており、ロボット関連の事業規模を24年ごろには20年比3倍以上に成長させていきたいと考えている。



オリジナル7軸協働ロボット「Beans 2」

(聞き手・浮島哲也記者)